

## 自己資本の状況

### ◆自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでおります。

剰余金等は内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成23年3月末における自己資本比率は、13.79%となり、前年度の14.03%を0.24ポイント下回りましたが、健全性を維持しております。

### ◆経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は、組合員の普通出資による出資金によっております。

普通出資による資本調達額	44億13百万円	(前年度 44億81万円)
--------------	----------	---------------

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

とりわけ、財務基盤強化のため役職員による増資運動に積極的に取り組んでおります。なお、組合員の高齢化・離農等による脱退に伴う平成22年度末の出資金は、44億13百万円となっておりますが、処分未済持分を勘案した後の出資金は、対前年比50百万円減少の43億34百万円となっております。